

〈等級区分〉

→ 随時2級・随時3級・基礎級 技能検定受検申請書

必ず受検する級を○で囲んでください。

管理番号	試験日
	西暦 年 月 日()

受付印

技能検定を受けたいので申請します。

岡山県知事殿

西暦	年	月	日
----	---	---	---

技能士番号	※
合格年月日	※

受検申請書は、「申請書記入上の注意」をよく読んで記入してください。

職種名	作業名	作業	受検番号	※
受検区分	学科試験・実技試験の両方を受検	学科試験のみ受検	実技試験のみ受検	
	A甲	A乙 実技試験の免除なし	B 実技試験の免除あり	A丙 学科試験の免除なし
			C 学科試験の免除あり	

●受検者情報

フリガナ				生年月日	西暦	年	月	日
氏名				(年齢)	(満)	歳		
住所	〒 -			性別	(男) (女)	国籍		
職歴	事業所名			地位職名	職務内容(実習内容)	在職期間		
	所在地			技能実習生		年	月	～
	電話	TEL - -		その他		年	月	まで
				事業所内での技能検定実施の有無	(有) (無)			

●受検に必要な情報

合格状況	合格した級	職種名・作業名	技能士番号	合格年月日(和暦)	判定	
	随時3級	職種名		S・H・R 年	※	
	基礎級	作業名		月 日		
免除項目	免除種別	免除する級	職種名・作業名	合格通知番号	合格年月日(和暦)	判定
	学科試験	随時2級	職種名		S・H・R 年	※
	実技試験	随時3級			月 日	
		基礎級	作業名		月 日	

●試験実施に必要な情報

試験会場	会場名	所在地	受検者総数
			名
監理団体	団体名	所在地・電話・担当者名	
		〒 -	
		担当者名(注) TEL(注) - -	

(注)の欄は、試験当日連絡がとれる情報を記入すること。

〈在留カード貼付け欄〉

在留カードの写しをここに必ずのり付けしてください。

- はがれないように確実にのり付けしてください。
- 氏名・生年月日・顔写真のあるページを、この枠内に収まるように必要に応じて縮小してください。

写真票(受検票)

管理番号	国籍	試験日
		西暦 年 月 日()
試験会場		
会場名		
所在地		
TEL	-	-

○は該当するものを○で囲んでください。

等級区分	随時2級・随時3級・基礎級
職種名	
作業名	作業
受検番号	※
受検区分	A甲 A乙 A丙 B C ※申請書に合わせること。
フリガナ	
氏名	(ピンイン・アルファベット)
生年月日	西暦 年 月 日
住所	〒 -
事業所名	
事業所所在地・電話担当者名	担当者名(注) TEL(注) - -
監理団体名	
監理団体所在地・電話担当者名	担当者名(注) TEL(注) - -

(注)の欄は、試験当日連絡がとれる情報を記入すること。

写真

写真の裏に級・作業名・氏名・事業所名を記入し、裏全面をのり付けしてください。
申請前6月以内に撮影した正面・脱帽・開眼・胸部以上のものとしてください。
横4cm×縦4.5cm程度

申請書記入上の注意

※記入前に必ずお読みください。

- ※印の欄は、記入は不要です。
- 管理番号は、協会から通知のあった情報を記入すること。
- 申請書は黒ボールペンを用いて正しく丁寧に記入すること。文字は楷書、数字は算用数字にて記入すること。なお、「氏名」は、在留カードに記載されているアルファベットと同一の書き方で正しく記入し、漢字、略字、俗字を用いないこと。また、「生年月日」は、西暦で正しく記入すること。
- 「等級区分」や「受検区分」は該当する項目を○で囲むこと。
- 「職歴」の在職期間は、直近の在職する事業所の情報を正しく記入すること。
- 「合格状況」は、下位級(随時2級の場合は随時3級、随時3級の場合は基礎級)の情報を正しく記載し、合格証書の写しを必ず添付すること。
- 「免除項目」は、実技試験又は学科試験の免除を受ける場合のみ記入すること。なお、申請時に記入漏れや免除書類の添付忘れがあった場合は、免除にはなりません。
- 「試験会場」の「会場名」、「所在地」は正しく記入すること。「所在地」の記載内容では試験会場の場所が分かりにくい場合は、地図をあわせて提出すること。また、当協会へ事前情報としてFAXで報告した情報と異なる場合は、速やかにその旨を連絡すること。「受検者総数」は、同日同会場を受検する同じ作業・級の合計人数を記入すること。
- 「在留カード貼付け欄」は、在留カードの写しを貼付すること。なお、氏名や生年月日の記載事項が明確に読み取れるよう複写し、所定の枠内に正しく貼り付けること。
- 受検手数料は、病気、業務の都合、本人の都合等いかなる理由であっても一切還付できないので注意すること。
- 受検手数料は受検申請書提出時までに納付すること。
- 記入した内容を修正する場合は、二重線で訂正の上、押印し修正すること。
- 申請内容に不正があった場合は、合格を取り消すことがあるので注意すること。

※申請書に記載された個人情報については、技能検定の円滑な実施のため利用することがあります。

(切りはなさないでください)

(切りはなして提出してください)